

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	総合演習Ⅲ	
コース名	システム開発コース			担当者	須永	
学 年	2年			教科番号	2A01	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	選択	
	△	○				
授業概要	基本情報技術者試験に合格するために、問題演習や解説などの受験対策を行なう 卒業までに基本情報技術者の合格、10月実施の応用情報技術者に向けた検定対策を行なう					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェアなどのテクニカル分野の知識を理解している。 ・情報戦略などのマネジメントとストラテジ分野の知識を理解している。 ・応用情報午後問題に出題される、セキュリティやアルゴリズムを理解している。 					
教材名	過去問題 模擬試験など					
資格の 取得目標	2年次の基本情報技術者試験・応用情報技術者合格を目標とする。					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	社内SEとして勤務経験のある教員がその経験を活かして国家試験対策を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験の得点を試験の一部として評価に含める。 ・本試験の合格は、加点評価する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	20%	0%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	基本情報技術者試験 セキュリティ問題演習
2	基本情報技術者試験 セキュリティ問題演習
3	基本情報技術者試験 セキュリティ問題演習
4	基本情報技術者試験 セキュリティ問題演習
5	基本情報技術者試験 アルゴリズム問題演習
6	基本情報技術者試験 アルゴリズム問題演習
7	基本情報技術者試験 アルゴリズム問題演習
8	基本情報技術者試験 アルゴリズム問題演習
9	応用情報技術者試験 午前問題演習
10	応用情報技術者試験 午前問題演習
11	応用情報技術者試験 午前問題演習
12	応用情報技術者試験 午前問題演習
13	応用情報技術者試験 午後問題演習
14	応用情報技術者試験 午後問題演習
15	応用情報技術者試験 午後問題演習
16	応用情報技術者試験 午後問題演習

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	システム関連技術Ⅱ	
コース名	システム開発コース			担当者	小関	
学 年	2年			教科番号	2A02	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	近年のシステム開発をサポートする生成AIや開発の現場では必須となっているバージョン管理システムなどの使用方法を講義・実習を通じて学習する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生成AIを活用したプログラミングができるようになる ・バージョン管理システムを利用することができる。 ・Dockerの活用方法について理解できる。 ・簡単なWebAPIを作成することができる。 					
教材名						
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かしてシステム開発をサポートする技術等について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・課題進捗状況を確認し、進捗具合を評価に含める。 ・スマートフォンなどの使用は禁止する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	0%	50%	30%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	イントロダクション システム開発を取り巻く環境 生成AIの活用
2	生成AIの活用 開発効率化の取り組み
3	バージョン管理システム GitHubの活用について
4	バージョン管理システム GitとGitHubの連携
5	Dockerを使用したコンテナの仕組み
6	Docker環境構築
7	Dockerを使用した開発環境の構築
8	Dockerfileの作成
9	Docker利用に関する課題
10	Docker利用に関する課題
11	WebAPI概要・作成
12	WebAPI作成
13	WebAPI作成課題
14	WebAPI作成課題
15	期末課題
16	期末課題

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	次世代テクノロジー-研究	
コース名	システム開発コース			担当者	須永/佐藤ヤ	
学 年	2年			教科番号	2A03	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	近年話題となっているIT業界のトレンドを自ら調査・研究する。研究した技術を使用し、グループワークで企画・開発を行ない、文化祭で展示する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭来場者視点で楽しんでもらえる企画を立案することができる。 ・グループで協力しながら開発し、期限内に完成することができる。 					
教材名						
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かして最新のデバイスを活用したプログラミング技術の研究について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中でのスマートフォンの使用は禁止する。 ・グループでの役割や貢献度、作品の完成度を評価する。 ・生成AIは、プログラミングの補助のみ使用を許可する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	35%	35%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	授業概要説明 研究グループ決め
2	IT業界最新トレンドの調査
3	企画立案
4	企画立案
5	企画書作成
6	企画書作成
7	研究・グループ制作
8	研究・グループ制作
9	研究・グループ制作
10	研究・グループ制作
11	研究・グループ制作
12	研究・グループ制作
13	研究・グループ制作
14	研究・グループ制作
15	研究・グループ制作
16	研究・グループ制作
17	研究・グループ制作
18	研究・グループ制作
19	研究・グループ制作
20	研究・グループ制作
21	研究・グループ制作
22	研究・グループ制作
23	研究・グループ制作
24	研究・グループ制作
25	研究・グループ制作
26	研究・グループ制作
27	研究・グループ制作
28	研究・グループ制作
29	研究・グループ制作
30	研究・グループ制作
31	研究・グループ制作
32	研究・グループ制作

回数	講義内容
33	研究・グループ制作
34	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成
35	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成
36	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成
37	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成
38	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成
39	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成
40	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成 展示作品完成
41	楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成、作品展示に向けての動作確認
42	楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成、作品展示に向けての動作確認
43	最終提出版作品作成
44	最終提出版作品作成
45	最終提出版作品作成
46	最終提出版ドキュメント作成
47	最終提出版ドキュメント作成
48	最終提出版ドキュメント作成

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	モバイルアプリ開発		
コース名	システム開発コース			担当者	柿沼		
学 年	2年			教科番号	2A04	単位数	6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
	△		○				
授業概要	JavaScriptを活用したフロントエンドの開発手法の学習を行なう。 クロスプラットフォーム開発ができる技術を習得する。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ HTMLを使用し、Webページが作成できる。 ・ CSSを使用し、Webページに装飾ができる。 ・ JavaScriptを使用し、Webページに動きを付けることができる。 ・ Vue.jsを使用し、モバイルアプリの開発ができるようになる。 						
教材名							
資格の 取得目標							
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	独立系SI企業で勤務経験のある教員がその経験を生かして、JavaScriptを用いたモバイル向けクロスプラットフォーム開発について授業を行う						
履修に あたっての 留意点							
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	0%	70%	10%	20%	0%	100%	

回数	講義内容
1	オリエンテーション HTML CSS JavaScriptの役割 開発環境構築
2	HTML HTML基礎
3	HTML リンクの設定と画像挿入
4	HTML フォームの設定
5	課題演習
6	CSS CSS基礎
7	CSS プロパティ 疑似クラス
8	CSS 表作成 レイアウト
9	レスポンシブ対応
10	課題演習
11	オブジェクト指向のおさらい
12	JavaScript 文章表示、アラート
13	JavaScript 四則演算、変数
14	JavaScript Date型、テンプレート文字列、プロパティ
15	課題演習
16	JavaScript 分岐処理・反復処理
17	JavaScript 配列処理
18	JavaScript 関数
19	課題演習
20	JavaScript クラス定義
21	JavaScript JSONの読み取り
22	課題演習
23	JavaScript EventListener blur
24	JavaScript Timer
25	課題演習
26	JavaScript 非同期通信
27	JavaScript ローカルストレージ
28	課題演習
29	Vue.jsとは その他のJavaScriptライブラリの紹介 Vue.jsのインストール
30	Vue.js 文章表示
31	Vue.js テキスト装飾、アニメーション
32	Vue.js 分岐、反復

回数	講義内容
33	Vue.js 配列 v-on
34	Vue.js コンポーネント作成
35	Vue.js コンポーネント実践
36	Vue.js まとめ
37	課題演習
38	修了課題 題材決め
39	修了課題 題材決め
40	修了課題
41	修了課題
42	修了課題
43	修了課題
44	修了課題
45	修了課題
46	修了課題
47	修了課題
48	修了課題

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	システム構築	
コース名	システム開発コース			担当者	正田	
学 年	2年			教科番号	2A05	単位数 10.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	VisualC#のプログラミング技術を修得し、SQLServerのデータベースを用いたASP.NET Webアプリケーション開発技法を学習する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ VisualC#の基本的なプログラミングができる。 ・ Microsoft.NET Frameworkの利用技術を理解している。 ・ ASP.NETおよびADO.NETの基本的なプログラミングができる。 ・ 基本的なWebアプリケーションを作成する事ができる。 ・ データベースサーバの基本操作を理解している。 					
教材名	ASP.NETの基礎（プリント）、 オンラインショッピングの開発（プリント）					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かしてWebアプリケーション開発、C#.net、ASP.net、SQLServerについて授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中はWeb等の技術情報を積極的に参照し、かつお互いに教えあう。 ・ Webアプリケーション制作に関する知識試験により評価する。 ・ 前期及び後期のWebアプリケーション制作課題により評価する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	40%	10%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	1. Webアプリケーションとは
2	Webアプリケーションとは ネイティブアプリとの違い サーバーサイド技術とクライアントサイド技術 .NET Frameworkの概要を理解する。 ASP.NETの概要 プロジェクトの作成
3	2. コードビハインド イベントハンドラの生成
4	3. ポストバック
5	ポストバックの概念 Page_Loadイベント ページインスタンスの破棄と再生成 ページロード時のポストバック判定①
6	ポストバックの概念 Page_Loadイベント ページインスタンスの破棄と再生成 ページロード時のポストバック判定②
7	4. 入力検証コントロール①
8	4. 入力検証コントロール②
9	4. 入力検証コントロール③
10	5. 画面遷移と状態管理①
11	5. 画面遷移と状態管理②
12	6. デバッグ
13	7. ADO.NETによるデータアクセス
14	SQL Server GUI管理ツールの設定 Windowsファイアウォールの設定 Windowsサービスの設定 SQL Server 環境設定ツールの設定 アプリケーションの開発 Webサイトの発行①
15	SQL Server GUI管理ツールの設定 Windowsファイアウォールの設定 Windowsサービスの設定 SQL Server 環境設定ツールの設定 アプリケーションの開発 Webサイトの発行②
16	SQL Server GUI管理ツールの設定 Windowsファイアウォールの設定 Windowsサービスの設定 SQL Server 環境設定ツールの設定 アプリケーションの開発 Webサイトの発行③
17	8. データバインド
18	SQLDataSourceの作成 データの登録機能の実装 カスタムデータバインド TemplateField列を使用した値の取得とレコードの更新 ButtonField列を使用した値の取得とレコードの更新
19	SQLDataSourceの作成 データの登録機能の実装 カスタムデータバインド TemplateField列を使用した値の取得とレコードの更新 ButtonField列を使用した値の取得とレコードの更新
20	SQLDataSourceの作成 データの登録機能の実装 カスタムデータバインド TemplateField列を使用した値の取得とレコードの更新 ButtonField列を使用した値の取得とレコードの更新
21	SQLDataSourceの作成 データの登録機能の実装 カスタムデータバインド TemplateField列を使用した値の取得とレコードの更新 ButtonField列を使用した値の取得とレコードの更新
22	03.データベースの更新①
23	03.データベースの更新②
24	03.データベースの更新③
25	9. ドロップダウンリストの作成①
26	9. ドロップダウンリストの作成②
27	9. ドロップダウンリストの作成③
28	9. ドロップダウンリストの作成④
29	10. DataViewクラスとDataTableクラス
30	10. DataViewクラスとDataTableクラス
31	10. DataViewクラスとDataTableクラス
32	10. DataViewクラスとDataTableクラス

回数	講義内容
33	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
34	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
35	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
36	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
37	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
38	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
39	前期中間課題「グルメスポット」 Webフォームの作成、画面遷移、Sessionオブジェクト、データベース更新、DataViewを含む復習課題
40	11. 例外処理 (Try~Catch)
41	11. 例外処理 (Try~Catch)
42	12. 値の丸め
43	前期終了課題「模擬試験管理」 前期期間中に学習した機能の総まとめとしたWebアプリケーションを作成する。
44	前期終了課題「模擬試験管理」 前期期間中に学習した機能の総まとめとしたWebアプリケーションを作成する。
45	前期終了課題「模擬試験管理」 前期期間中に学習した機能の総まとめとしたWebアプリケーションを作成する。
46	前期終了課題「模擬試験管理」 前期期間中に学習した機能の総まとめとしたWebアプリケーションを作成する。
47	前期終了課題「模擬試験管理」 前期期間中に学習した機能の総まとめとしたWebアプリケーションを作成する。
48	前期終了 課題の提出とチェック
49	Webアプリケーションの開発実践 オンラインショッピングサイトの構築① マスターページの実装
50	Webアプリケーションの開発実践 オンラインショッピングサイトの構築① マスターページの実装
51	オンラインショッピングサイトの構築② 商品一覧の表示
52	オンラインショッピングサイトの構築② 商品一覧の表示
53	オンラインショッピングサイトの構築② 商品一覧の表示
54	オンラインショッピングサイトの構築③ データベースへの書き込み
55	オンラインショッピングサイトの構築③ データベースへの書き込み
56	オンラインショッピングサイトの構築③ データベースへの書き込み
57	オンラインショッピングサイトの構築③ データベースへの書き込み
58	オンラインショッピングサイトの構築④ データベースからの取り出しと更新
59	オンラインショッピングサイトの構築④ データベースからの取り出しと更新
60	オンラインショッピングサイトの構築④ データベースからの取り出しと更新
61	オンラインショッピングサイトの構築④ データベースからの取り出しと更新
62	オンラインショッピングサイトの構築⑤ マスターページへのサマリー表示
63	オンラインショッピングサイトの構築⑤ マスターページへのサマリー表示
64	オンラインショッピングサイトの構築⑤ マスターページへのサマリー表示

回数	講義内容
65	オンラインショッピングサイトの構築⑥ 顧客情報の管理 会員情報の登録とログイン機能
66	オンラインショッピングサイトの構築⑥ 顧客情報の管理 会員情報の登録とログイン機能
67	オンラインショッピングサイトの構築⑥ 顧客情報の管理 会員情報の登録とログイン機能
68	オンラインショッピングサイトの構築⑥ 顧客情報の管理 会員情報の登録とログイン機能
69	オンラインショッピングサイトの構築⑦ 会計決裁機能の実装
70	オンラインショッピングサイトの構築⑦ 会計決裁機能の実装
71	オンラインショッピングサイトの構築⑦ 会計決裁機能の実装
72	オンラインショッピングサイトの構築⑦ 会計決裁機能の実装
73	オンラインショッピングサイトの構築⑧ 商品登録機能の実装
74	オンラインショッピングサイトの構築⑧ 商品登録機能の実装
75	オンラインショッピングサイトの構築⑧ 商品登録機能の実装
76	オンラインショッピングサイトの構築⑧ 商品登録機能の実装
77	オンラインショッピングサイトの構築⑨ 顧客一覧機能の実装
78	オンラインショッピングサイトの構築⑨ 顧客一覧機能の実装
79	オンラインショッピングサイトの構築⑩ 顧客別商品別売上集計機能の実装
80	オンラインショッピングサイトの構築⑩ 顧客別商品別売上集計機能の実装

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	XR技術	
コース名	システム開発コース			担当者	柿沼	
学 年	2年			教科番号	2A06	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	WeBARを中心としたXR技術の開発技術の修得を通じ、メディアの活用、Webアプリケーションの開発に必要なスキルを身に付ける。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画像・3DオブジェクトのWeb上での取り扱いについて理解できた。 ・ マーカー型ARの開発方法について理解できた。 ・ マーカーレス型ARの開発方法について理解できた。 					
教材名						
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	独立系SI企業で勤務経験のある教員がその経験を生かして、ARを中心としたXR技術のを用いたWebアプリケーション開発について授業を行う					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	70%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	イントロダクション XR関連の現状 開発環境の構築
2	Webサーバの役割 ファイルの配置について
3	AR.js、Aframeの活用について
4	マーカーでオブジェクトを表示
5	オブジェクトの表示位置の調整
6	マーカーでオブジェクト表示課題
7	ARで文字を表示
8	オブジェクトと文字を組み合わせて表示
9	文字・オブジェクト表示課題
10	オリジナルマーカーの作成
11	マーカーに対応した表示物を設定
12	オリジナルマーカーの作成課題
13	オブジェクト操作 クリック時の挙動作成
14	オブジェクト操作 クリック時の挙動作成
15	オブジェクト操作 クリック時の挙動作成課題
16	マーカーごとの表示物設定
17	マーカーごとの表示物設定
18	マーカーごとの表示物設定課題
19	マーカーベース開発課題 自作WebサイトにAR画面を追加する
20	マーカーベース開発課題 自作WebサイトにAR画面を追加する
21	マーカーベース開発課題 自作WebサイトにAR画面を追加する
22	ビジョンベースAR
23	読み取り画像生成
24	読み取り画像生成
25	ビジョンベースでのオブジェクト表示
26	ビジョンベースでのオブジェクト表示
27	ビジョンベースAR課題
28	ビジョンベースAR課題
29	ビジョンベースAR課題
30	ビジョンベースAR課題
31	ロケーションベースARの実装方法
32	GPSによるロケーションARの実装

回数	講義内容
33	ロケーションベースAR課題
34	ロケーションベースAR課題
35	ロケーションベースAR課題
36	ロケーションベースAR課題
37	VR作成
38	VR作成
39	期末課題説明・題材準備
40	期末課題作成
41	期末課題作成
42	期末課題作成
43	期末課題作成
44	期末課題作成
45	期末課題作成
46	期末課題作成
47	期末課題作成
48	期末課題作成

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	アプリケーション実習		
コース名	システム開発コース			担当者	佐藤 泰		
学 年	2年			教科番号	2A07	単位数	4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別			必修
	△		○				
授業概要	アプリケーションソフトのMicrosoft Excel2021の基本を習得する。						
到達目標	表計算と文書作成のアプリケーションソフトとして広く利用されている「MicrosoftOffice Excel2021」の利用方法の学習と実習を通して、業務を効率的に行うための技術を身につける。						
教材名	30時間でマスター Office 2021 編者：実教出版企画開発部 出版社：実教出版株式会社						
資格の 取得目標	サーティファイ ソフトウェア開発能力認定委員会 Excel表計算処理技能認定試験3級						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	複合機・精密機器メーカーで実務経験を有する教員がその経験を活かしてドキュメント制作に必要なオフィスアプリケーション技術について授業を行う。						
履修に あたっての 留意点	スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割合	70%	0%	10%	20%	0%	100%	

回数	講義内容
1	Excel2021とは
2	Excel2021とは
3	表計算ソフトとは
4	表計算ソフトとは
5	データ入力の基礎
6	データ入力の基礎
7	基本的なワークシート編集
8	基本的なワークシート編集
9	関数を使った計算式
10	関数を使った計算式
11	小数点とセルの参照
12	小数点とセルの参照
13	罫線
14	罫線
15	行の挿入
16	行の挿入
17	グラフ
18	グラフ
19	条件判定と順位付け
20	条件判定と順位付け
21	検索関数の利用
22	検索関数の利用
23	Excelの便利な機能
24	Excelの便利な機能
25	Webページを活用した表の作成
26	Webページを活用した表の作成
27	WordとExcelの活用
28	WordとExcelの活用
29	模擬問題での演習
30	模擬問題での演習
31	模擬問題での演習
32	模擬問題での演習

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	卒業研究	
コース名	システム開発コース			担当者	小関/柿沼/須永/卒研担当	
学 年	2年			教科番号	2A08	単位数 14.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	2年間の総合的な学習成果として、グループで作品をつくる					
到達目標	①卒業研究の意義に基づいて立案した企画が、指導担当教員の承認を得ることができる ②自ら立てたスケジュールに基づき、作業を遂行し記録することができる ③グループで定めた完成目標に基づき、修得した知識・技能や自主的な調査・研究を行い、作品という形で具現化できる					
教材名	なし					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かして卒業研究グループ制作を行う					
履修に あたっての 留意点	・提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ・授業態度の項目は、授業の終期に個人及びグループ総括を行い、作品及びグループへの貢献度も評価対象とする。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	35%	35%	20%	10%	100%

回数	講義内容
1	卒業研究の意義、卒業研究授業スケジュール管理について、提出フォルダ構成の説明
2	テーマ検討・決定、グループ編成、
3	テーマ検討・決定、グループ編成、
4	テーマ検討・決定、グループ編成、
5	テーマ検討・決定、グループ編成、
6	テーマ検討・決定、グループ編成、
7	テーマ検討・決定、グループ編成、
8	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
9	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
10	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
11	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
12	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
13	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
14	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
15	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
16	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
17	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
18	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
19	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
20	企画書作成・編集、週間作業報告書作成、中間チェック(企画書の内容を教員にプレゼンテーションする)
21	企画書作成・編集、週間作業報告書作成、中間チェック(企画書の内容を教員にプレゼンテーションする)
22	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
23	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
24	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
25	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
26	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
27	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
28	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
29	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
30	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
31	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
32	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成

回数	講義内容
33	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
34	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
35	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
36	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
37	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
38	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
39	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
40	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
41	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
42	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
43	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
44	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
45	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
46	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
47	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
48	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
49	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
50	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
51	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
52	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
53	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
54	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
55	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
56	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
57	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
58	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
59	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
60	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
61	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
62	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
63	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
64	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成

回数	講義内容
65	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
66	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
67	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
68	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
69	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
70	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
71	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
72	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
73	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
74	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
75	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
76	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成β版(動作確認が可能な)作品提出
77	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
78	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
79	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
80	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
81	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
82	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
83	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
84	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
85	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
86	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
87	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
88	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
89	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
90	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
91	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
92	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
93	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
94	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
95	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
96	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備

回数	講義内容
97	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
98	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
99	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
100	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
101	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
102	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
103	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
104	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
105	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
106	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
107	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
108	卒業研究総括
109	卒業研究総括
110	卒業研究総括
111	卒業研究総括
112	卒業研究総括

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	キャリアデザインⅡ	
コース名	システム開発コース			担当者	須永	
学 年	2年			教科番号	2A09	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	キャリア教育を通じて、職業人として必要な責任感、誠実さ、協調性、柔軟性、倫理観を持ち、社会的・職業的自立に向けた基盤となる能力や態度を学び、修得する。そのために、実践行動学プログラムや、アサーショントレーニングなど複合的に学ぶ。					
到達目標	①学ぶこと、働くことの意義、多様性を理解する。 ②実践行動学や自己ブランディングや外部・内部講演などを通じて、自己理解が出来る。 ③自己の適性に合わせた内定先を見つけ、積極的な就職活動を行う。 ④規律ある学生生活を送る。 ⑤行事の意義を理解し、積極的に役割を持ち、参加する。					
教材名	・夢実現のための実践行動学／実践行動学研究所出版 ・2027年度版 一般常識&最新時事[一問一答]頻出1500問 ・授業配布プリント					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	①行事の出席・取り組み状況も評価の中に含める。 ②提出物の項目は、完成度だけでなく、提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ③授業とは関係のないものの使用は不可とする。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション、各種委員選出
2	2_就職活動について
3	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア1
4	就職活動指導
5	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア2
6	適職開発室講義(自己分析と職業選択)
7	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア3
8	校長先生講義(就職活動選考時の心構えと行動について)
9	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア4
10	就職部講義(人事担当からみた今年の学生の情報)
11	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア5
12	就職活動基礎知識の復習
13	就職活動指導(履歴書、自己PRブラッシュアップ)、個人ガイダンス
14	就職活動指導(履歴書、自己PRブラッシュアップ)、個人ガイダンス
15	就職活動指導(サイトの活用、企業との連絡の仕方)
16	就職活動指導(サイトの活用、企業との連絡の仕方)
17	就職活動指導(クラス内情報交換)
18	就職活動指導(クラス内情報交換)
19	就職活動指導(入社試験の種類、模擬試験)
20	就職活動指導(入社試験の種類、模擬試験)
21	就職活動指導(面接指導)
22	就職活動指導(面接指導)
23	就職活動指導(面接指導)
24	就職活動指導(面接指導)
25	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
26	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
27	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
28	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
29	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
30	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
31	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
32	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備

回数	講義内容
33	特別講演(9月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
34	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
35	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
36	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
37	特別講演(10月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
38	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
39	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
40	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
41	特別講演(11月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
42	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
43	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
44	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
45	特別講演(1月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
46	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
47	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
48	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	企業実習		
コース名	システム開発コース			担当者	担任		
学 年	2年			教科番号	2A10	単位数	2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		選択	
			○				
授業概要	企業や病院・施設でのインターンシップ						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業や病院の業務を直接体験することによって、基本姿勢を学ぶ。 2. 自分から積極的に挨拶ができるようになる。 3. 社会人として通用する立ち振る舞いを学ぶ。 4. 社会人として恥ずかしくない言葉遣いができる。 5. 自ら報告・連絡・相談ができるようにする。 6. 就職活動を真摯に行う心構えをつくる。 						
教材名	補助プリント						
資格の 取得目標							
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	企業で実務を行っている社員が経験を活かして実習を行う						
履修に あたっての 留意点	事前事後指導も評価に含める 提出期限を厳守						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	0%	30%	20%	30%	20%	100%	

回数	講義内容
1	事前学習: 1. 趣旨説明 2. 書類の説明 3. 企業(病院)の選択 4. 実習日誌(目標)記入
2	事前学習: 1. 趣旨説明 2. 書類の説明 3. 企業(病院)の選択 4. 実習日誌(目標)記入
3	実習
4	実習
5	実習
6	実習
7	実習
8	実習
9	実習
10	実習
11	実習
12	実習
13	実習
14	実習
15	事後実習: 1. お礼状の送付 2. 実習報告書の提出
16	事後実習: 1. お礼状の送付 2. 実習報告書の提出

令和7年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	課題研究	
コース名	システム開発コース			担当者	担任	
学 年	2年			教科番号	2A11	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	選択	
	○					
授業概要	各コースの実施内容やカリキュラムポリシーに則した課題を学生が設定し、調査・研究を行う					
到達目標	学生が設定した課題の完成目標に基づき、自主的な調査・研究を行い、担当教員が指示した形式（作品、文書、レポート等）にまとめることができる。					
教材名	無し					
資格の 取得目標	研究内容により決定する					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	課題研究のテーマについては、学生自身の自己研鑽、各学科・コースの学びに繋がる内容で、かつ主体的に行うこと					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	80%	0%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	課題研究のテーマと目標設定を行う
2	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
3	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
4	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
5	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
6	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
7	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
8	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
9	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
10	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
11	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
12	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
13	まとめ
14	まとめ
15	まとめ
16	まとめ